

**平成30年度加東市の交通施策に係る取組内容****1 交流の中核となる新たな交通結節点の整備** 計画書 p.99～100★

市役所内のプロジェクトチーム及び神姫バス株式会社とバスターミナルの形態・機能・規模について、引き続き調整・協議するとともに、神姫バス株式会社と社営業所、車庫等の移設について協議します。また、やしろショッピングパーク Bioを管理しているやしろ商業開発株式会社とバスターミナルの整備箇所の協議を始め、平成30年度中にバスターミナルの整備箇所と規模を決定します。

**2 広域交通（鉄道・高速バス・路線バス）と連動した地域公共交通ネットワークの形成**

計画書 p.105～106★

社三田線の運行ルート変更（久米経由廃止）及び米田ふれあい線の利用区間拡大については、米田ふれあい線の利用区間となっていない上久米、下久米、久米の各地区の役員・住民を対象とした説明会を順次開催し、平成30年度中に地元の了解を得られるよう取り組みます。また、社三田線の運行ルート変更に当たっては、神戸市、三田市、三木市など他の沿線自治体との調整も行います。

**3 高速バスの一層の利便性向上による定住化・交流の促進** 計画書 p.107～108

高速バスの運行ダイヤを変更し、社を大阪方面行きの発着点とするため、引き続き、神姫バス株式会社及び西日本ジェイアールバス株式会社と協議を行います。また、両事業者に運行ダイヤの変更や社を大阪方面行きの発着点とすることが利用者増加につながることを示す必要があることから、加東市内の高速バスの利用需要を把握するため、市内4箇所の高速バス停留所において利用者数、利用者の属性、利用者の利用頻度等を調べる利用実態調査を実施します。

**4 タクシーの有効活用に向けた取組** 計画書 p.111～112★

福祉タクシー事業については、引き続き、福祉部局において事業の効果を評価・検証し、今後のあり方を検討します。その中で、福祉タクシー券をより有効に活用していただける方法を探っていきます。

**5 地域や学校、事業所を対象としたモビリティ・マネジメントの実施** 計画書 p.113～114★**交通事業者のCSR活動による利用促進** 計画書 p.129～130

加東市公共交通ガイドブックを活用したPRや公共交通機関を乗って守る意識付けを地区・自治会などを通じて市民に行うことにより、利用促進につなげます。また、バスに親しみを持ってもらい、バスによる移動について親子で考えてもらう機会を作るため、10

月開催予定の加東市秋のフェスティバルにおいて、子ども向けのバス乗車体験イベントを神姫バス株式会社に協力いただき開催します。

## **6 観光入込客に対する地域公共交通確保の検討** 計画書 p.121～122

加東市の主要な観光資源である東条湖及びその周辺への公共交通機関によるアクセスがよくないことから、路線バスの乗り入れについて、観光部局と連携しながら協議します。

## **7 地域の主体的な取組による移動手段の維持・拡大と新たな確保** 計画書 p.127～128★

引き続き、市町村運営有償運送の導入を検討されている地区・自治会の役員・住民への説明会を開催し、地域の機運を高めていきます。そして、地域、交通事業者、関係機関と具体的な協議・調整を進め、平成30年度中に新たな地域での運行を開始します。

★印を付している施策は、加東市地域公共交通網形成計画で定める重要施策です。